

## 第2回家族への短い手紙 最優秀受賞作品紹介

長井瑠香さん・理江さん親子

ありがとうございます

青生野5年 長井 瑠香

お母さん、いつもわがママを少しだけ許してくれてありがとう。家の中をそうじしたり、おふろをあらってくれてありがとう。おいしいごはんを作ってくれてありがとう。

かわいい洋服を買ってくれてありがとう。

そして、わたしをうんでくれてありがとう。

いつも見ているよ

母親 長井 理江

瑠香を見ていて感心するのは、とつてもがんばりやさんの所。負けず嫌いで、すぐ悔し涙を流して。目標に向かってがんばって、

納得のいく結果が出ないと泣きながらお母さんに話してくれる。そんな姿にいつも感動して、涙が出てきます。でも、あまり無理はしないでね。

お母さんは、いつも瑠香を応援しながらみています。

鈴木龍聖くん・知美さん親子

おかあさんへ

鮫川小3年 鈴木 龍聖

おなかの中に赤ちゃんがいてたいへんだから、ぼくができることはてつだうね。

だから、元気なあかちゃんをうんでね。

りゅうせいへ

母親 鈴木 知美

最近では、ママの大変さが少し

ずつ分かり、自分から手伝いをしてくれるよね。

でも、一つだけ本当にママからお願いです。妹の世梨奈ともう少し仲良くしてね。

そうしてくれると、ママも安心して元気な赤ちゃんを産めるよ。

阿久津翠季さん・栄美子さん親子

毎日 たくさん ありがとう

鮫川小6年 阿久津 翠季

「行ってきます」と言うと「行ってらっしゃい」とあなたかく送ってくれる

私の家族

「ただいま」と言うと

「おかえり」と笑顔でむかえてくれる

私の家族

ほっとする我が家

毎日の生活の中で得るもの

母親 阿久津 栄美子

子供たちの笑顔にお父さん、お母さんは……ばあちゃん……どれほど癒されることでしょう。

お互いがお互いを気遣い思いやりこれからもそしていつまでも、感謝の気持ちをわすれずに。

水野汐里さん・祐子さん親子

お母さんへ

鮫川中2年 水野 汐里

お母さんが病気になるって寝込んで

ている時、私は本心配したよ。

お母さんに早く元気になってほしかったから、

私はお母さんの分まで家事を頑張ったよ。

私の作ったご飯、全部食べてくれてすごく嬉しかった。

元気になってくれてありがとう。

頼もしい娘へ

母親 水野 祐子

初めお母さんが寝込んだとき、汐里がお手伝いをしてくれて助かりました。

正直、汐里があんなに頑張ってくれるとは思っていなかったのビックリしました。

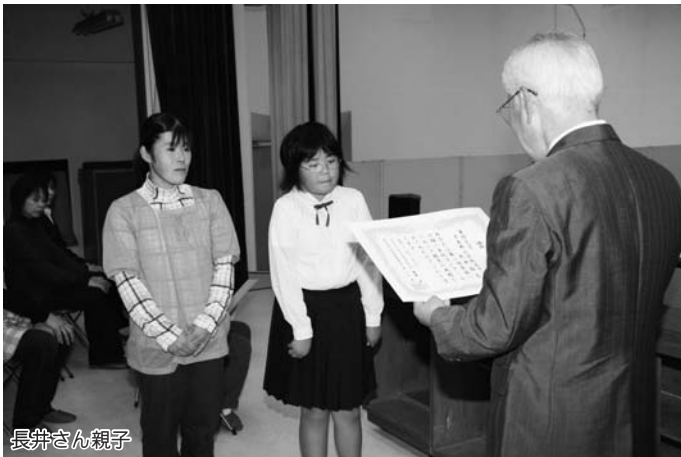
改めて、汐里の成長を感じる事ができて嬉しかったよ。

汐里はお母さんにとって元気の源です。

疲れていても、汐里とたわむれ

ていると、とても安らぐの知っていましたか？

これからもお母さんをよろしくね。



長井さん親子



鈴木さん親子



阿久津さん親子



水野さん親子

# 第13回村子ども俳句・短歌・詩のコンクール 最優秀賞受賞作品紹介

村青少年健全育成推進協議会（会長・奥貫洋村教育長）と鮫川村小中学校校長会主催の「第13回鮫川村子ども俳句・短歌・詩のコンクール」の審査会は十月九日に村公民館で開かれました。

コンクールには、村内の小・中学生が各部門（俳句・短歌・詩）に百二十八点の作品を応募。厳正な審査の結果、次の十一作品が最優秀賞に選ばれました。表彰は、十一月三日に行われた第十四回村少年主張大会の席上で行われ、奥

貫会長から受賞者に賞状が手渡されました。

## 俳句の部

- みずあそび なつのそらに にじかかる  
 鮫川小一年 薄葉 大生  
 あめあがり にじにむかつてはしりだす  
 鮫川小一年 須藤 大斗  
 よるのまど ホタルの青い 色光る  
 青生野小二年 藤田 琉那  
 花火見て えがおほじける 夏の夜  
 青生野小三年 長井 優果

- 帯締めて ささやきながら ほたるがり  
 鮫川中一年 前田 桜  
 青空に 笑う太陽 こげた僕  
 鮫川中三年 小松正太郎  
 夜の道 螢の光が 道標  
 鮫川中三年 鈴木 峻

## 短歌の部

- 夏の夜 空にかがやく 銀の星  
 おもいめぐらす 未知の世界へ  
 青生野小五年 土手内那月  
 春の風 幸せという名の ぬくもりを  
 運んでくれる 母かと思う  
 鮫川中三年 北條 藍子

## 詩の部

- いろえんぴつ  
 鮫川小一年 北條 綾乃  
 わたしのいろえんぴつ  
 はだいろが いっぱいへっている  
 ほんとうは きいろや  
 みずいろや ピンクが  
 すきだったけど

だいじにつかっているから  
 ながいまま。  
 はだいろ いっぱいへったのは  
 だいすきな  
 おともだちや  
 おかあさんのえを  
 いっぱいかくから。

じいちゃん・ばあちゃん  
 鮫川中二年 藤田 朔人  
 太陽は すぐく燃えている  
 でも、じいちゃんも ずっと燃えている  
 あつい 中毎日 毎日 畑仕事  
 じいちゃん はもの すぐく燃えている  
 雷はもの すぐく光る  
 ばあちゃん ももの すぐく光っている  
 雷に 負けない ぐらいた  
 田んぼの中 には ばあちゃん がいる  
 もの すぐく光っている  
 夏は やっぱり  
 じいちゃん ばあちゃん だあ



奥貫会長から賞状を手渡される受賞者

## 新型インフルエンザ予防接種助成事業のお知らせ

新型インフルエンザの予防接種は、感染すると重症化する恐れがある人から、優先に予防接種が開始されました。村では、予防接種費用の助成をしますので、該当する方は、役場住民福祉課健康係まで申請してください。

### ■助成対象者（左表）

対象者	助成額
生活保護世帯 住民税非課税世帯のうち ①妊婦 ②基礎疾患がある方 ③1歳から高校生に相当する年齢の方 ④1歳未満の乳児の保護者など ⑤優先接種対象者のうち身体上の理由で予防接種できない方の保護者 ⑥65歳以上の方	全額を助成
住民税課税世帯のうち ①妊婦 ②基礎疾患がある方 ③満1歳から中学3学年に相当する年齢の方	1回に限り 2,000円

### ■申請の手続き

申請場所：役場住民福祉課健康係  
 時間：午前9時～午後5時  
 期間：優先接種対象者ごとに接種開始時期が決まっていますので、医療機関へ接種予約が完了した方から、助成申請の受付および予防接種助成事業対象者証明書の交付を順次開始します。

### ■持参するもの

印鑑、各種健康保険被保険者証など（妊婦の方は母子健康手帳）

### ■申請時の注意事項

- ①必要書類などがそろっていれば、代理申請もできます。／②非課税世帯の認定は、平成21年1月1日時点で村に住所がある方、それ以降に転入された方は転入前の住所地で非課税世帯であることを確認できる書類を取得する必要があります。

問い合わせ 村住民福祉課健康係  
 ☎ 4913112・3113

## 社会保険庁が廃止され、「日本年金機構」が平成22年1月1日からスタート

社会保険庁は、組織・人員を一新し、「日本年金機構」として生まれ変わります。

現在ある白河社会保険事務所などは、新たに「年金事務所」と名称は変わりますが、年金相談などの窓口として引き続きご利用いただけます。また年金事務所は、現在ある社会保険事務所の建物をそのまま使用しますので、所在地に変わりありません。

日本年金機構の設立に伴い、国民の皆さんに何らかの手続きをいただくとはいけません。国民年金機構は、社会保険庁から公的年金の運営業務を引き継いで行うこととなりますが、公的年金制度は、国の制度として、その財政や運営に国が引き続き責任を持つことについては、これまでと変わりません。

問い合わせ 福島社会保険事務局  
 局運営課 ☎ 0241526102  
 34

